

平成28年度予算編成の概要

— 創立130周年を迎えて —

この伝統を、超える未来を。



学校法人関西大学 理事長 池内 啓三



1 予算編成の概要

関西大学は、平成28年11月4日(金)に創立130周年を迎えます。これを新しい歴史の幕開けととらえ、これまで連続と受け継がれてきた「知と精神」を確実に継承するとともに、柔軟かつ幅広い視野で物事を捉え、「考動力」と「革新力」をもって新たな世界を切り拓こうとする、強い意志を有する人材の育成など、社会の要請に応えるべく学園の創出を推進してまいります。

さて、平成28年度予算は、平成28年3月24日開催の理事会において承認されました。

創立130周年記念事業では、「伝統への自信 未来への考動～「学縁」を世界に広げよう～」をコンセプトに、創立130周年にふさわしい6つの大きな事業を計画しています。ハード面では、①千里山キャンパスへの新アクセス整備、②イノベーション創生センターの建設、③梅田キャンパスの開設の3事業が平成28年度に竣工いたします。また、ソフト面では、④なにわ大阪研究センターの設立、⑤グローバルフロンティアプログラム(KUGF)の開発による次世代グローバルリーダーの育成事業、⑥「学縁」給付奨学金制度の構築、「豊田期大坂凶屏風」コンサートの開催等々をはじめ、数多くの教育・学術・社会貢献関係事業、国際化関係事業、学生活動関係事業、各団体との関係事業を展開してまいります。

平成28年度の事業計画は、次の「2 事業計画の概要」のとおりです。これらの諸事業を推進するために、新規事業は戦略的に予算を配分し、既存事業についてはゼロベースの視点から費用対効果を検証し節減を図るなど、限られた財源の有効活用を徹底するとともに、財務基盤の安定に向けて努力する所存です。

2 事業計画の概要

平成28年度における教育研究活動の事業計画の主なものは、次のとおりです。

(1) 教育研究活動関係

※梅田キャンパスの開設については、「(2)教育研究施設設備の整備充実関係」に記載

ア 関大LMSの導入と入学前教育プログラムの充実

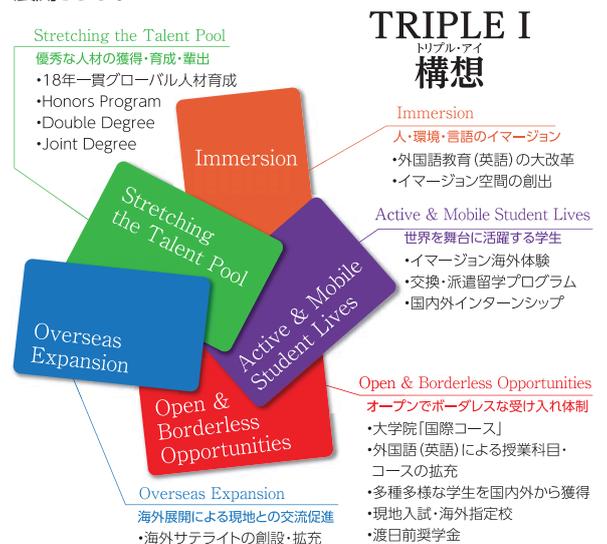
平成28年度から、新たなLMS(Learning Management

System(ラーニング マネジメント システム))として、「関大LMS」を導入します。関大LMSは、Web上での教材作成、テストの実施やレポートの採点、出席管理や成績管理、双方向性のあるメッセージ機能や学習カルテなどの機能を備えています。また、スマートフォンやタブレットなどの携帯端末からも使用することができ、学生・教員共に操作性や利便性が向上します。

また、入学前教育プログラムについても平成28年度入学生へのプログラム実施結果を踏まえ、コンテンツ(英語・国語・数学)の検証を行い、さらなる改善を図るとともに、関大LMS上での利用を検討します。

イ 「国際化戦略2014-2023 TRIPLE I(トリプル・アイ)構想」の推進

外国語(英語)教育体制の充実を図り、大幅な環境整備を進め、本学学生が国際的なコミュニケーション力、共感性、創造性、積極性、そして、異文化適応能力を養う異文化イマージョン教育(Intercultural Immersion Initiatives(インターカルチュラル イマージョン イニシアチブズ):トリプル・アイ構想)を展開します。



【トリプル・アイ構想概念図】

本構想を実現するため、多様なバックグラウンドを持った教員・学生が、外国語(英語)と日本語を駆使して、さまざまな意見や価値観をぶつけ合い、新たな考え方を発見し、主体的に問題を解決する場である「イメージ空間」を創出します。

また、10年後には本学で修学する6人に1人が外国人留学生となることを目指し、平成28年度は、外国人留学生の受入拡大のための新たな短期受入プログラムを構築するとともに、DD(Double Degree(ダブル デグリー))およびJD(Joint Degree(ジョイント デグリー))プログラムなどの高度な留学ルートを開拓し、学生・研究者交流の活性化等を行います。

ウ 「なにわ大阪研究センター」の設立

創立130周年記念事業の一環として、「なにわ大阪研究センター」を設立し、「なにわ大阪」をキーワードに、各学問分野を統合した「統合科学」の観点から、近隣の大学、自治体、企業、商店街、NPO等との学術的な連携を推進し、「大阪研究の拠点」として活動します。

エ 人間健康研究科博士課程後期課程の開設

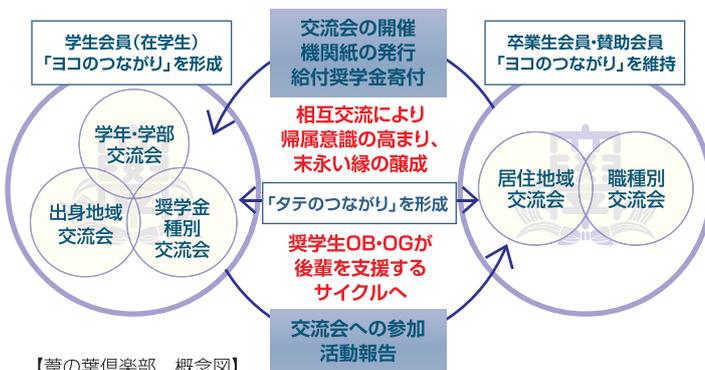
平成28年4月に人間健康研究科博士課程後期課程を開設し、スポーツプロモーションとヘルスプロモーションを時代のニーズに応じた形で実現できる研究者や、健康スポーツや福祉分野における高度専門職業人などを養成します。

オ 関西大学「学縁」給付奨学金制度の運用開始および奨学生会「葦の葉倶楽部」の始動

創立130周年記念事業の一環として、「学縁」給付奨学金制度を構築し、奨学生会「葦の葉倶楽部」を設立しました。

新たな奨学金は、学生生活実態調査の結果などを踏まえ、学び意欲はあるが経済的理由により修学が困難な学生を支援することに重点を置き、「学業奨励型」から「経済支援型」にシフトしたもので、予約採用型給付奨学金制度などを導入し、平成28年度に支給を開始します。

また、奨学金の給付を受けた在学学生および卒業生等を会員とし、平成27年度に設立した奨学生会「葦の葉倶楽部」は、学生スタッフを中心に、交流会の開催や会報誌の発行などを行い、奨学生(在学学生)と卒業生会員・賛助会員の「学縁」の広がりを深めていきます。



カ キャリア形成および就職支援の充実

複数キャンパス化及び各学部・研究科の特性に対応した学生一人一人の勤労観・職業観を涵養し、自らのキャリアを導き出す力を育成するため、多様な就職支援 행사를全学的に展開し、企業等の採用活動の動きを踏まえ、時宜に応じたキャリア形成・就職活動支援プログラムを推進します。

また、平成28年10月にキャリアセンター梅田オフィスは、梅田サテライト・オフィスから梅田キャンパスへ移転し、多様な就業支援を充実させるとともに、卒業生就業支援も展開します。

この他にも、教育研究の質の向上のためのさまざまな施策を推進いたします。

(2) 教育研究施設設備の整備充実関係

ア 梅田キャンパスの開設(創立130周年記念事業)

「梅田という都心で、学びの高度化・多様化を追求し、地域・社会人・大学がともに発展できる新たなハブ機能」を有するキャンパスをコンセプトに、平成28年10月、大阪市北区鶴野町に梅田キャンパスを開設します。

新たなキャンパスは、延床面積約5,045㎡、鉄骨・鉄筋コンクリート造地上8階建てで、①社会人学び直し等をはじめとした教学利用、②起業家育成のスタートアップ事業、③会員制異業種交流サロン事業、④生涯教育に資する事業を展開するなど、在学生、教職員、校友、企業や地域社会との交流・情報発信拠点となります。

【梅田キャンパス エントランス イメージパース】



イ イノベーション創生センター建設工事(創立130周年記念事業)

イノベーション創生センターは、延床面積約3,587.94㎡、鉄骨・鉄筋コンクリート造地下1階地上4階建てで、理工学系の先端研究に加え、マーケティング・リサーチ等の社会科学系の分野も配置し、インキュベーション機能、ベンチャー促進機能等も兼ね備えた日本有数の産学官連携・共同研究拠点を形成し、国際競争力の向上に資する革新的なイノベーションの創出を目指します。

【イノベーション創生センター イメージパース】



ウ 千里山キャンパス新アクセス整備工事(創立130周年記念事業)

阪急関大前駅北口の東側に千里山キャンパスへの新たなメイン通路を開設するもので、エスカレーターや憩いの広場を設け、植樹による緑のキャンパス空間を演出するなど、学生や地域住民の利便性・快適性を高め、安全・安心で人に優しいアプローチを造成します。

【千里山キャンパス新アクセス イメージパース】



3 収支予算書

予算書については、私立学校振興助成法による学校法人会計基準に定められた『資金収支予算書』と『事業活動収支予算書』の2種類を作成することになっています。

『資金収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、予算編成を通じて計数化することにより、収入と支出を科目別に明らかにし、かつ、支払資金の収入と支出のてん末を明らかにするものです。

『事業活動収支予算書』は、当該年度における学校法人全体の諸活動の計画を、事業活動収支計算の基準に基づいて計数として表示したものです。学校法人の諸活動に伴う収支を経常的な収支と臨時的な収支に区分し、それぞれの収支の均衡状況とその内容を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

『貸借対照表』は、学校法人の一定時点における資産、負債、純資産をもって財政状態を示すものです。決算時に作成することになっていますが、本学では予算時にも年度末の財政状態をより分かりやすくするために『予想貸借対照表』を作成しています。具体的には、平成26年度決算の『貸借対照表』に平成27年度補正後予算を加味して平成27年度末とし、さらに平成28年度予算を加味して平成28年度末の財政状態を予想したものです。

4 収支予算の概要

(1) 資金収支予算について

平成28年度資金収支予算は、12ページに掲載の『資金収支予算書(総括)』のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、597億円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、576億4,800万円となりました。この結果、差し引き20億5,200万円を前年度繰越支払資金116億5,800万円に加え、翌年度繰越支払資金は137億1,000万円となりました。

(2) 事業活動収支予算について

平成28年度事業活動収支予算は、12ページに掲載の『事業活動収支予算書(総括)』のとおりです。

経常的な収支のうち、教育および研究活動の収支状況を表す教育活動収支では、学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金などの教育活動収入から、人件費や教育研究経費などの教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額は3億5,700万円の収入超過となり、対前年度比較で16億7,600万円の減となりました。また、主に財務活動の収支状況を表す教育活動外収支差額は2億8,200万円の収入超過となり、この結果、経常収支差額は6億3,900万円の収入超過、対前年度比較で15億7,300万円の減となりました。これに施設設備に対する寄付金や補助金、資産の処分等にかかる臨時的な収支を表す特別収支差額1億5,500万円を加え、予備費を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は2億9,400万円の収入超過となり、対前年度比較で17億3,900万円の減となりました。一方、基本金組入額は、施設設備あるいは将来の施設取得に係る積立金や基金などに充当するもので、53億1,500万円となり、対前年度比較で9億500万円の増となりました。

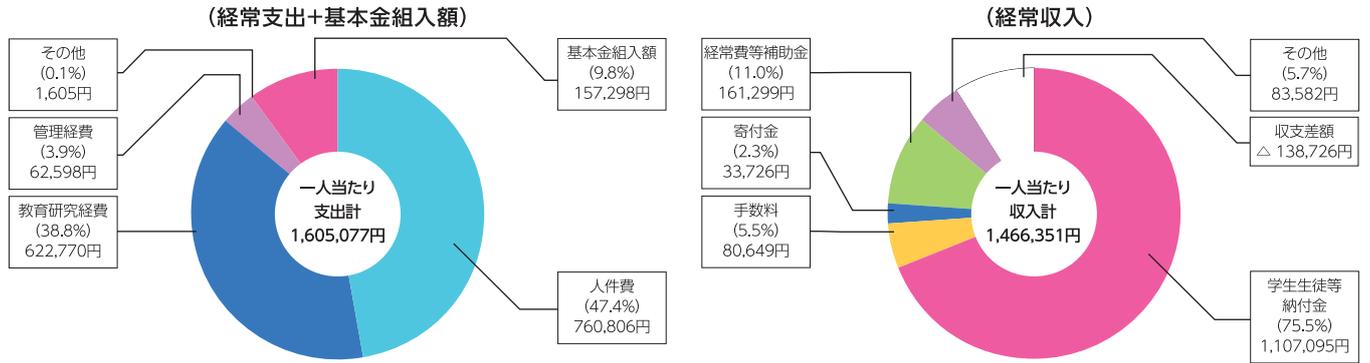
平成28年度予算における事業活動収支の均衡状況を表す当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差し引いた50億2,100万円の支出超過となり、対前年度比較で26億4,400万円の増となりました。この結果、当年度収支差額に前年度繰越収支差額を加えた翌年度繰越収支差額は、326億4,800万円の支出超過となりました。

また、この累積収支差額のほか、建物などの取得に際し、借り入れた借入金の未返済額にあたる基本金未組入額が95億3,600万円ありますので、実質上の繰越収支差額はこれをあわせた421億8,400万円の支出超過となります。

なお、平成28年度の予算書をはじめ、関西大学の財務情報を「関西大学ウェブサイト」に掲載しておりますので、一度ご覧ください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/>

平成 28年度 事業活動収支予算における「学生生徒等一人当たりの経常的な支出とこれを賄う収入」



(注) 1 事業活動収支予算における経常的な支出(教育活動支出、教育活動外支出、基本金組入額)および収入(教育活動収入、教育活動外収入)の予算額を、科目ごとにそれぞれ予算学生数33,708人(大学院・学部・留学生別科・高校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。
 2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、または将来取得のための積立金などの主として資本的支出に充てる額である。

資金収支予算書(総括) 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

支出の部				収入の部			
科目	28年度予算	27年度予算	増減	科目	28年度予算	27年度予算	増減
1 人件費支出	25,710,082	25,081,430	628,652	1 学生生徒等納付金収入	37,316,183	37,746,585	△ 430,402
2 教育研究経費支出	14,999,997	14,122,861	877,136	2 手数料収入	2,713,640	2,751,140	△ 37,500
3 管理経費支出	1,943,479	2,279,498	△ 336,019	3 寄付金収入	1,162,000	1,344,000	△ 182,000
4 借入金等利息支出	61,395	65,441	△ 4,046	4 補助金収入	5,435,058	5,822,398	△ 387,340
5 借入金等返済支出	1,378,620	1,230,620	148,000	5 資産売却収入	5,596	200,000	△ 194,404
6 施設関係支出	7,384,167	6,131,467	1,252,700	6 付随事業・収益事業収入	1,092,982	1,085,654	7,328
7 設備関係支出	1,653,735	1,258,102	395,633	7 受取利息・配当金収入	343,023	244,833	98,190
8 資産運用支出	2,509,703	9,293,022	△ 6,783,319	8 雑収入	1,398,867	1,158,407	240,460
9 その他の支出	3,228,413	3,111,036	117,377	9 借入金等収入	2,600,000	1,500,000	1,100,000
10 予備費	500,000	500,000	0	10 前受収入	6,278,587	8,064,731	△ 1,786,144
11 資金支出調整勘定(小計)	△ 1,721,800	△ 1,794,514	72,714	11 その他の収入	8,757,766	6,782,984	1,974,782
12 翌年度繰越支払資金	13,710,390	11,657,673	2,052,717	12 資金収入調整勘定(小計)	△ 7,403,194	△ 7,758,524	355,330
支出の部 合計	71,358,181	72,936,636	△ 1,578,455	13 前年度繰越支払資金	11,657,673	58,942,208	△ 2,336,755
				収入の部 合計	71,358,181	72,936,636	△ 1,578,455

(注) 「27年度予算」は第2次補正後予算を示す。

事業活動収支予算書(総括) 平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

事業活動収入の部				事業活動支出の部			
科目	28年度予算	27年度予算	増減	科目	28年度予算	27年度予算	増減
1 学生生徒等納付金	37,316,183	37,746,585	△ 430,402	1 人件費	25,638,726	25,090,552	548,174
2 手数料	2,713,640	2,751,140	△ 37,500	2 教育研究経費	20,975,555	20,018,753	956,802
3 寄付金	1,156,000	1,300,000	△ 144,000	3 管理経費	2,113,110	2,457,806	△ 344,696
4 経常費等補助金	5,407,068	5,558,627	△ 151,559	4 徴収不能額等	0	0	0
5 付随事業収入	1,092,982	1,085,654	7,328	教育活動支出計	48,727,391	47,567,111	1,160,280
6 雑収入	1,398,867	1,158,407	240,460	教育活動収支差額	357,349	2,033,302	△ 1,675,953
教育活動収入計	49,084,740	49,600,413	△ 515,673				
				特別収入計	11,515	116,074	△ 104,559
				特別支出計	0	0	0
				特別収支差額	11,515	116,074	△ 104,559
				特別収支差額	155,071	320,697	△ 165,626
				予備費	500,000	500,000	0
				基本金組入前当年度収支差額	294,048	2,033,391	△ 1,739,343
				基本金組入額合計	△ 5,315,150	△ 4,410,145	△ 905,005
				当年度収支差額	△ 5,021,102	△ 2,376,754	△ 2,644,348
				前年度繰越収支差額	△ 27,626,965	△ 41,231,234	13,604,269
				基本金取崩額	0	15,981,023	△ 15,981,023
				翌年度繰越収支差額	△ 32,648,067	△ 27,626,965	△ 5,021,102
				(参考)			
				事業活動収入計	49,594,349	50,282,017	△ 687,668
				事業活動支出計	49,300,301	48,248,626	1,051,675

(注) 「27年度予算」は第2次補正後予算を示す。

予想貸借対照表 平成29年3月31日

資産の部				負債及び純資産の部			
科目	28年度末	27年度末	増減	科目	28年度末	27年度末	増減
固定資産	203,159,907	203,788,085	△ 628,178	純資産の部			
有形固定資産	119,809,024	116,798,657	3,010,367	基本金	218,047,845	212,732,695	5,315,150
特定資産	79,235,520	82,784,576	△ 3,549,056	第1号基本金	194,575,415	189,285,631	5,289,784
その他の固定資産	4,115,363	4,204,852	△ 89,489	第2号基本金	100,000	100,000	0
流動資産	15,676,512	13,633,406	2,043,106	第3号基本金	19,961,430	19,936,064	25,366
資産の部 合計	218,836,419	217,421,491	1,414,928	第4号基本金	3,411,000	3,411,000	0
				繰越収支差額	△ 32,648,067	△ 27,626,965	△ 5,021,102
				翌年度繰越収支差額	△ 32,648,067	△ 27,626,965	△ 5,021,102
				純資産の部 合計	185,399,778	185,105,730	294,048
負債の部				負債及び純資産の部 合計	218,836,419	217,421,491	1,414,928
固定負債	20,959,616	19,917,592	1,042,024				
流動負債	12,477,025	12,398,169	78,856				
負債の部 合計	33,436,641	32,315,761	1,120,880				